

# Toyota Municipal Museum of Art Press Release

豊田市美術館 プレスリリース

2023.4.10



Toyota  
Municipal  
Museum  
of Art

豊田市美術館



澤田華《漂うビデオ（水槽、リュミエール兄弟、映像の角）》2022年 東京都写真美術館蔵

## 吹けば風

Incoming Breezes

2023年6月27日[火]ー9月24日[日]

休館日： 月曜日（ただし7月17日、8月14日、9月18日は開館）

開館時間： 10:00-17:30（入場は17:00まで）

主催： 豊田市美術館

会場： 展示室1ー5

観覧料： 一般1,300円[1,100円] 高校生・大学生800円[600円]、中学生以下無料

\*[ ]内は前売券及び20名以上の団体料金

\*前売券：豊田市美術館（5月21日まで）、T-FACE B館2階インフォメーション（6月26日まで）、

メグリア11店舗（6月26日まで、取扱店舗：本店、エムパーク店、セントレ、藤岡店、三好店、若園店、志賀店、朝日店、井上店、はなぞの店、うねべ店）

\*次の方は観覧料が無料になります。（要証明）

- ・障がい者手帳をお持ちの方（介添者1名）
- ・豊田市内在住又は在学の高校生の方
- ・豊田市内在住の18歳以下の方（満18歳から最初の3月31日まで）
- ・豊田市内在住の満70歳以上の方

\*その他、観覧料の減免対象者及び割引等については、当館ウェブサイトをご確認ください。

## 開催趣旨

思いがけず感じる清風、偶然目にとまった道端の花など、ほんのわずかな間だけ私たちに留める小さな発見。この展覧会では、通常は見過ごされ、忘れられてしまうような細やかな発見や驚きに注目し、そうした体験を見つめなおします。

本展のタイトルは、明治生まれの詩人・高橋元吉が詠んだ詩の「咲いたら花だった 吹いたら風だった」という一節からきています。それがなにかわかるまでは「なにか得体の知れないもの」でよいと言い、先入観を取り払っておおらかな気持ちで物事を見ようとするこの詩人にとって、世界は新鮮な発見に満ちていたかもしれません。

本展に参加する4人の作家もまた、日々の生活や旅先での体験に取材しつつ、五感を介してなにかを感じるときに自身に起こる変化をつぶさに観察し、作品を見る人の細やかなものに反応する感性を刺激します。会場では、4人の作家がそれぞれつくりだす4つの体験をお楽しみください。

## 参加作家

川角岳大(かわすみ がくだい)、澤田華(さわだ はな)、関川航平(せきがわ こうへい)、船川翔司(ふなかわ しょうじ)

## 展覧会のみどころ

### 新進作家による新作

本展で紹介するのは近年注目を集める新進気鋭の作家たちです。会場では、本展で初めて公開される最新作を含む、絵画や映像、インスタレーション、パフォーマンスなど幅広いジャンルの作品をご覧ください。

### 日常的な体験を問い直す

視界に入っていたはずなのに思いだせない細部、背景音楽のように聞き流したさまざまなノイズ、楽しいときは短く退屈なときは長く感じる時間など、私たちの記憶や意識、感覚が均一や単調とは真逆にあることは、だれしも経験上知っているでしょう。本展の参加作家たちは、そうしたあいまいさや偏りを退けるのではなく、むしろ積極的に作品に取り込みます。本展では4人の作品を介して、現代の社会で生活する私たち自身に日々なにが起こっているか、言葉やイメージに置き換えられない瞬間的で微細な変化を改めて見つめます。

## 展覧会のみどころ

### 会場に広がる4つの体験

たとえば川角岳大が素潜りや車の運転中の体験を思い出しながら淡く描く絵画は、時間の長さや空間の広さが伸び縮みするような感覚や、記憶の濃淡を思わせます。あるいは、小さな謎を映画や写真、日常会話のなかに見つけ探る澤田華、風力計などのセンサーを用いて天気を作品に取り込む船川翔司、会場に自らの身を置きリアルタイムで作品を更新しつづけるパフォーマンスを発表してきた関川航平も、それぞれの仕方でひとがなにかを体験する瞬間になにが起こっているかをつぶさに観察し、鋭敏に反応しながら制作を続ける作家たちです。会場には4人の作家がそれぞれ独自の視点で示す4通りの体験が広がります。

## 作家紹介

### 川角岳大

1992年、愛知県生まれ。近年の主な個展として「xo」(Lavender Opener Chair / 2022年)、「川底の葡萄」(gallery N / 2020年)など。参加したグループ展には「名古屋市美術館 現代美術のポジション 2021-2022」(名古屋市美術館 / 2021年)「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2020」(岐阜県美術館 / 2020年)などがある。

### 澤田華

1990年、京都府生まれ。主な個展に「避雷針と顛末」(Gallery PARC / 2022年)、「夏のオープンラボ：澤田華 360° の迂回」(広島市現代美術館 / 2020年)などがある。「第3回 PATinKyoto 京都版画トリエンナーレ2022」(京都市京セラ美術館 / 2022年)や「あいちトリエンナーレ2019」(愛知芸術文化センター / 2019年)などのグループ展にも多数参加。

### 関川航平

1990年、宮城県生まれ。主な個展に「あざみ野コンテンポラリー vol.11 関川航平 今日」(横浜市民ギャラリーあざみ野 / 2020年)、「あの(独奏)」(デカメロン / 2020年)、グループ展に「至るところで 心を集めよ 立っていよ」(Yutaka Kikutake Gallery / 2022年)、「THEY DO NOT UNDERSTAND EACH OTHER」(大館美術館 / 香港 / 2020年)、「開館40周年記念展 トラベラー：まだ見ぬ地を踏むために」(国立国際美術館 / 2019年)などがある。

### 船川翔司

1987年、鹿児島県生まれ。近年の展覧会に「Hey, \_」(神戸アートビレッジセンター / 2022年)「秋田」(BIYONG POINT、2019年)、「THE ヨエロ寸-尋-」(VOU / 2021年)など。IGA PERFORMANCE FESTIVAL: STARPTLPA(ラトビア共和国 / 2021年)、Kunstverein St. Pauli(ドイツ / 2022年)における展示・公演など、海外での活動も行う。

# Toyota Municipal Museum of Art Press Release

豊田市美術館 プレスリリース



---

## 関連事業

### 関連イベント

会期中にアーティスト・トーク、ワークショップなどを予定しています。  
詳細は美術館ウェブサイト等でお知らせします。

---

## カタログ

### カタログ

出版：oar press

刊行予定：8月中旬

価格：未定

発売日等の詳細は、美術館ウェブサイト等でお知らせします。

---

## 同時開催

### 枠と波

当館の所蔵作家を中心としたグループ展。「枠と波」をキーワードに、1960-70年代に言葉や音、日用品や身近な風景を取り込んだ制作を行った作家たちの作品に、彼ら／彼女たちのそれ以降の作品を織り交ぜて紹介します。

会場：展示室8 ＊「吹けば風」展チケットでご覧いただけます。

---

## お問合せ

豊田市美術館 〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町8丁目5番地1

HP:<https://www.museum.toyota.aichi.jp> e-mail:[bijutsukan@city.toyota.aichi.jp](mailto:bijutsukan@city.toyota.aichi.jp)

- 展覧会に関すること 学芸担当：石田、能勢 Tel 0565-34-3131
- 掲載依頼・取材等に関すること 庶務担当：吉兼（よしかね）、籠谷（こもりや） Tel 0565-34-6748



Toyota  
Municipal  
Museum  
of Art  
豊田市美術館

## 「吹けば風」 広報用画像について

当館ウェブサイト「[広報用画像ダウンロード](#)」申込みフォームより、ご希望の画像を申請してください。  
「広報用画像ダウンロード」の画像提供サービスは、パソコンでのみダウンロード可能となります。  
パソコンからのお申し込みが難しい方は、以下を記入のうえ、Faxでお送りください。

送り先：豊田市美術館 庶務担当 吉兼（よしかね）、籠谷（こもりや）  
Tel 0565-34-6748 Fax 0565-36-5103  
e-mail: [bijutsukan1@city.toyota.aichi.jp](mailto:bijutsukan1@city.toyota.aichi.jp)

|                    |   |                         |
|--------------------|---|-------------------------|
| お名前                | 様 | ご所属                     |
| <hr/>              |   |                         |
| Tel                |   | Fax                     |
| <hr/>              |   |                         |
| e-mail             |   | 必要な画像等の番号               |
| <hr/>              |   |                         |
| 掲載紙／メディア名          |   | 発売、放送予定日 月 日（ 月号、vol. ） |
| <hr/>              |   |                         |
| 必要な観覧券枚数（最大5組10名分） | 枚 | 観覧券の送付先                 |
| <hr/>              |   |                         |

\* 読者プレゼントのため等、希望する場合のみご記入ください



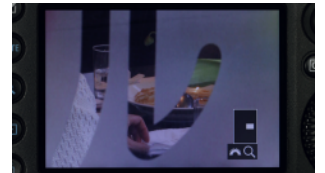
1



2



3



4



5



6



7



8

- 川角岳大《Summer》2021年 acrylic on canvas 撮影：中村マユ
- 川角岳大《Street light》2022年 acrylic on canvas 撮影：中村マユ
- 澤田華《漂うビデオ（水槽、リュミエール兄弟、映像の角）》2022年 シングル・ビデオ・インスタレーション（プロジェクター、脚立、撮影用背景スタンド、他）  
東京都写真美術館蔵
- 澤田華《67のポストビューおよび目下のシーン》2022年 シングルチャンネル・ビデオ 東京都写真美術館蔵
- 関川航平《しあわせな日々》2022年 イチジクの鉢植え、ステンレス、グラファイト、パフォーマンス photo by Osamu Sakamoto
- 関川航平《今日》2020年 パフォーマンス photo by Masanobu Nishino
- 船川翔司《weathering with island》2021年 ミクストメディア
- 船川翔司《Hey, \_》2022年 ミクストメディア 撮影：中村寛史

資料の使用には以下の点にご注意ください。

- ・作品写真のトリミング、文字のせはご遠慮ください。
- ・必ずキャプションを表記してください。
- ・ご紹介いただく場合は、情報確認のためゲラ刷り等をお送りください。

美術館使用欄 画像提供の依頼日 年 月 日 ☐画像送付 ☐校正 ☐修正 ☐配信・配本